

資格検定 News Letter

2022, April, Vol.01

「理解」すること「包み込む」こと

朝日新聞の人生相談コラム（2022年4月9日）で見つけた言葉に心がざわついた。政治学者 姜尚中さんが述べた言葉である。タイトルに示した『「理解」すること「包み込む」こと』である。『わたしたちの世界は、「判決」を下すこと、「裁く」ことに性急な余り、「理解」すること、そして「包み込む」ことを忘れてしまっていると言えないでしょうか。』を読み、思い当たることがあった。未知の事象に対しては、それが得体が知れず、想像できず、理解できないと、多くの人は不安定な状況に置かれる。



すぐにレッテルを貼らない

その状態を何とか逃げたいと思うときに、その事象をある「言葉」でレッテルを貼り、分類し、区別して理解できないことから逃げようとする。何らかの説明をつけたいと思う。妖怪やお化け、未知の自然現象に名前をつけるこは、得体の知れぬものを「そのまま」にせず、「名前」をつけることで既知としたいと願った結果かも知れない。



確証バイアスを検証する

人は自分の経験に基づき、自分の受け入れ可能な理由を探す。自分の「確証バイアス」にフィットする言葉を探し、事象を理解する。しかし、だからこそ自分とは異なるものを受け入れ、その不安と共存する覚悟を放棄してはならない。新しい学年がスタートし、新しい生活が始まる。新しい環境の中では、これまでの経験則や決まり、方法にこだわりすぎると、目が曇る。そういう風に思うのである。

